

競 技 注 意 事 項

2006通信陸上

競技は2006年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項によって行う。

1. 練習について

ウォーミングアップや練習は、すべて競技場西側の多目的広場ならびに競技場内の室内練習場を使用することとする。

ただし、朝の競技開始または開始式10分前までは競技場内の練習も可能とする。また、投てき練習については、多目的広場の指定された場所のみ可能とする。投てき器具は備え付けの物を使用し、時間等についてはその場の役員の指示に従うこと。

2. 招集について

A 選手招集場は、100mスタート地点外側ゲート付近に設ける。

B 招集開始時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック競技・・・1組～3組 30分前に開始し20分前に終了する。

4組～ 20分前に開始し10分前に終了する。

フィールド競技・・・50分前に開始し40分前に終了する。

C 招集の手順

競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、係員にナンバーカードとスパイクの確認を受けたのち、係員の誘導に従って入場する。

四種競技出場者は最初の種目のみ招集所でCの に従い競技者係の点呼を受けるが、以降は現地招集とする。完了時刻はトラック15分前・フィールド30分前とする。

3. 競技について

A 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後レーンに沿って曲走路を走る。

B トラック競技は、すべて写真判定による電気計時とする。したがってトラック競技出場者は右腰やや後方に、主催者が用意した腰ナンバーカード（縦12cm×横18cm）をつけること。フィニッシュ後はその腰ナンバーカードを役員に必ず返却する。

C すべての競技者は明瞭な文字で、ナンバーカードを背と胸に縫いつけることが望ましい。（走高跳・棒高跳は背または胸のいずれか一方でよい。）なお、A、B、Cの大きさは、学校番号と同じ大きさで、縦20cm×横24cmのわく内に書くこと。テープで加工したり、切ったり折り曲げたりしたものは不可とする。

D トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプロ記載どおりとする。準決勝以降の組み合わせは、番組編成員により公正に抽選の上決定する。編成された組み合わせは招集場に掲示する。

E 準決勝あるいは決勝進出における+ は100分の1秒単位とする。同タイムが多くレーンが不足する場合は1000分の2秒まで読みとり、進出者を決定する。ただし、同記録者がありレーン数が不足する場合は、本人の抽選により決定する。

F リレーオーダー用紙は、予選・決勝とも招集開始時刻1時間前までに2部競技者係に提出する。予選のオーダー用紙は学校受付時に交付する。決勝のオーダー用紙は競技者係で交付する。

G リレーに出場する選手は、4人とも同一ユニフォームを着用するのが望ましい。

H リレーの各走者は1ヶ所に限り粘着テープをマーカーとして使用できる。（テープの大きさは50mm×400mm以内）

I 四種競技の最終種目については、3種目の合計得点で改めて組み分けをする。

J 競技規則第162条6項（2）『「位置について」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で他の競技者をじゃまするような場合は不正スタートとみなされる』により、スターターの「位置について」の合図で「お願いします」等のかけ声はかけないこと。

- K 7レーン以下使用のトラック競技は、2レーンより行う。
- L 次のラウンドへ進出できた競技者でやむなく次のラウンド（準決勝、決勝）を棄権する場合は総務まで棄権届を提出すること。棄権届は総務に申し出て受け取ること。なお、決勝を棄権した場合、その日のその後の競技には出場できない。

4. バーの上げ方

	種目	練習	上げ方
男子	走高跳	1.45	1.50 - 1.55 - 1.60・・・1.70 - 1.73 以上3cm
	四種走高跳	A	1.45 - 1.50 - 1.55・・・1.65 - 1.68 以上3cm
		B	1.35 - 1.40 - 1.45・・・1.65 - 1.68 以上3cm
	棒高跳	2.50	2.60 - 2.80・・・3.00 - 3.10 以上10cm
女子	走高跳	1.25	1.30 - 1.35 - 1.40 - 1.45 - 1.48 - 1.51 以上3cm
	四種走高跳	A	1.25 - 1.30 - 1.35 - 1.40 - 1.43 - 1.46 以上3cm
		B	1.15 - 1.20 - 1.25 - 1.30 - 1.35 - 1.40 以上3cm

四種競技の走高跳については、A・Bピットで最初の高さが異なるので、1日目の朝の受付時に、どちらのピットを希望するか申告する。ただし、人数に偏りがある時は競技運営上、人数を均等に分けて行う場合がある。

順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

5. 表彰

決勝8位（リレー3位）まで表彰を行う。8位までに入賞した選手は、成績通告後3分以内に受賞席へ来ること。他種目を兼ねていて受賞できない場合は代理の者を立てること。

6. 救急医療について

出場選手の競技中の疾病および傷害については、応急の処置は行うがそれ以後の責任は一切負わない。

7. その他

- A 貴重品等の管理は各校で十分注意すること。
- B スタンド・更衣室は常に清潔保持に努めること。
- C 大会中は、メインスタンド下は立入禁止とする。その他、競技注意事項ならびに競技場使用上の注意をしっかりと守ること。
- D 選手・競技役員・補助員・大会役員・報道関係者以外の者は競技場内には入らないこと。特に選手の付き添いや応援または記録を測るための理由で入らないこと。選手への助力とみなされ失格となる場合がある。
- E 助走マークやリレーマークなどで使用したテープは、確実にはがして持ち帰ること。
- F 自校応援席の清潔保持に努め、清掃の時間には参加者全員で清掃すること。
- G 弁当は日陰で管理するなど食中毒予防の方策をとり、衛生状態に十分配慮すること。各校、熱中症等に対する健康管理を十分に行うこと。
- H 全日本中学の出場資格を得た者は、表彰後、本部席で出場手続きを行うこと。
- I 本大会での男子共通4×100m、女子共通4×100mの優勝チームに全日本中学への出場資格を与える。

